

参院選に勝利し国民連合政府つくろう



佐藤・齋藤両弁護士（右側）と懇談する（左から）森、紙、畠山の各氏ら＝1日、札幌弁護士会館

森候補、畠山・紙議員が団体を訪問・懇談

参院北海道選挙区の森つねと候補と畠山和也衆議院議員、紙智子参議院議員は1、2の両日、国民連合政府のよびかけで北海道農業会議、札幌弁護士会、道漁業協同組合連合会、道森林組合連合会と懇談しました。

札幌弁護士会では憲法委員会事務局長の佐藤博文弁護士、同副委員長の齋藤耕弁護士が応対し、「今後も多くの人と協力していきたい」と話しました。

紙議員は「国民連合政府に歓迎の声が寄せられています。引き続き共同を広げていきたい」と述べ、畠山議員は「世論を広げる上で弁護士会は大きな役割をはたしています。世論と運動が野党の結束を高めました」と語りました。

畠山・紙両議員が国政報告・懇談会で国民連合政府のよびかけ

国会議員団事務所は2日、畠山和也衆議院議員と紙智子参議院議員を囲む国政報告・懇談会を開催し、民主団体や労働組合役員、市民らが参加しました。

紙議員は「戦争法廃止の国民連合政府」の提案について、「野党の党首会談を重ねてきた。戦争法廃止、立憲主義を取り戻すという一致点で野党合意の基礎がある。ねばり強く取り組みたい」と話しました。

畠山議員は「政府が出した法案の問題点を厳しく追及できるのは共産党であり、党を大きくすることが政治を動かすことだと実感している」と述べました。

参加者からは介護、保育、18歳選挙などについて多数の意見や質問が出され、森つねと参院道選挙区候補が閉会あいさつで、参院選での支援をよびかけました。



報告する畠山衆議院議員と紙参議院議員＝2日、札幌市

戦争法強行採決から1カ月 森候補、畠山衆議が街頭で訴え



街頭で訴える森、畠山両氏＝19日、札幌市

戦争法強行採決から1カ月となる19日、参院北海道選挙区の森つねと候補と畠山衆議院議員は「暴走する安倍政権を倒そう」と、札幌駅西口で街頭からの訴えを行いました。

畠山議員は「野党は協力して安倍政権を倒してほしい、という願にこたえたのが国民連合政府の提案です。ぜひビラもご覧ください。一緒に力を合わせましょう」と呼びかけました。

森候補は「戦争法の廃止を求めるたたかいは、憲法を国民の手に取り戻すたたかいです。参院選は国民連合政府実現の第一歩。安倍政権に厳しい審判をくだす、先頭に立ちます」と決意を述べました。

北海委員会の勤務員が通行人らにビラを配布しました。